

第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	A-ち
種別・回戦	男子・2回戦	会場	河南総合体育館

ながさきしゃちゅう 長崎社中			えいちしーひこね HC彦根			得点チェック欄	
32	16	前半	8	19	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	16	後半	11		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	倉谷宣宏
----	--------	------

HC彦根のスローオフで始まった。HC彦根3番吉原のカットインにより先取点をあげるが、長崎社中6番中村14番相川両エースのミドルシュートがきまり、点差を広げていった。13分9対3となったときにHC彦根がタイムアウトをとり立て直しを図った。気持ちを切り替えたHC彦根はHC彦根7番大本の退場があつたにも関わらず粘り強い攻撃をし4点差まで迫つたが、長崎社中の厳しいディフェンスからの早い攻撃に再び点数を開けられていった。長崎社中の8点リードで前半を終了した。

後半長崎社中15番貝本のサイドシュートの得点で始まった。両チーム一進一退の攻防が続いた。長崎社中6番中村の退場にも関わらず長崎社中キーパー12番古田がノーマークシュートを好セーブし得点差を詰められなかった。最終的に32対19で長崎社中が勝利した。

送信担当記録委員	川久保 恵理
----------	--------